



磯貝 正隆 議員

### 平成24年度予算編成について

**問** 予算編成の基本的な考え方は。

**答** 震災の影響や史上最高の水準の円高、低迷する海外経済情勢の中で、本市の市税収入は、雇用、所得環境の低迷や新規設備投資の抑制などにより、増額は見込めず、依然として厳しい状況にあり、24年度市税収入全体では前年度当初予算とほぼ同額と試算している。歳出面では、社会保障関係費は、年々増加していくことは避けられない状況であり、また震災に伴う防災対策の強化、公共施設の老朽化など喫緊の課題に対応していくためにさらに厳しい財政運営を強いられると予想される。安定的で持続可能な財政基盤の構築を図るため、「高浜市の未来を創る予算」と位置づけ『総合計画の着実な推進』『中期財政計画の遵守』『市



黒川 美克 議員

### 防災行政について

**問** ①減災への考え方、②町内会とまちづくり協議会の活用法、③東海・東南海・南海地震の対応等について。

**答** ①減災は、行政と市民の意識改革が必要のため、小学生等を対象に学習会を平成21年度から実施しており、その活動が減災への大きな力になると考えます。  
②各町内会や各まちづくり協議会に自主防災組織を結成し、地域が一体となつて防災活動に取り組む体制を整え、行政や個人では対応できない公と私の隙間を埋め、この自主防災組織を活用し、地域防災力の強化を図ります。  
③東海・東南海・南海の3連動地震をはじめ、日向灘や海溝軸も含めた5連動地震についても地震規模の検証や被害想定を調査しており、平成25年夏頃を目途に新たな被害予測に基づき、愛知県地域防

災計画を修正するのに伴い、これに基づき本市の地域防災計画の見直しを行います。災害は待つてくれませんのでソフト面の整備等を先行し、9月補正で可決された「標高の見える化」、また、緊急地震速報や大津波警報等の災害情報を伝達するために平成24年度には、情報を一斉送信できる同報系防災無線の整備を計画していますが、今後も地震災害等の防災教育についても普及啓発を行い、地域の防災意識の向上を図ります。

### 都市基盤整備について

**問** 都市基盤整備については、平成17年度以降、土地区画整理事業、市街地再開発事業等は、計画すらかされていながら、今後どのように考えるか。

**答** 平成23年度に改訂した高浜市都市計画マスタープランに基づき、住宅地、商業地、工業地ゾーンとしての土地利用を図るべき地区を定めており、住居系及び工業系の土地需要への対応が必要な地区において、既成市街地との一体性などに配慮した上で、土地区画整理事業や地区計画制度を活用することにより、新市街地の整備を検討します。



北川 広人 議員

### 第5期介護保険事業計画について

**問** 第4期介護保険事業の検証は。

**答** 平成21年度事業計画標準給付費計画値に対する実績割合は95・0%、平成22年度は94・9%で要介護等認定者数もほぼ計画値通り。平均要介護度は改善され、日常生活圏域ニーズ調査におけるサービス利用者のアンケートでは、「満足」「ほぼ満足」の回答が8割であった。

**問** 現段階での予定月額保険料は。また基準保険料が県内平均より高いのはなぜか。

**答** 5062円を予定している。基準保険料は、サービスの利用料に比例する。上乗せサービスにより区分支給限度額が他と比べ高いため、利用者本人のニーズにあう充実したサービス提供が行われているためである。

**問** 高齢者福祉理念の在宅を